資料のテキスト（表記はできるだけ原文に沿いました）

壁新聞「明るい社会はほんとうの男女平等から　労働省婦人少年局（婦人週間）」1950年

明るい社会は　ほんとうの　男女平等から　労働省婦人少年局

あなたのまわりに　こんなことを　みうけませんか？

男の子だけに高い教育

　女の子は義務教育だけで沢山というところから能力の差が出来る

政治は女のあずかり知らぬこと

　意見をいわずだまつて従うのが女らしいという考え方

男本意の家の中

　嫁は家の附属品　妻は年中家事におわれ世の中のことにうとくなる

小さくなってる職場の婦人

　いつまでたつでも責任ある仕事につけない

法律では　婦人も　男子と　同じです

教育

　力に応じて男女の区別なくすすめる

　大学　高等学校　中学校　小学校

政治

　男子と共に政治に参加

家庭

　夫婦の平等　結婚の自由　家の制度の廃止

職業

　あらゆる職業に婦人もつける

　同一労働　同一賃金

　医師　弁護士　科学者　公務員　労働者

ほんとうの　男女平等と　なるために

家庭から職場から　封建制をなくしましよう！

　男子も新しい婦人の地位を知る

わたくしたちの権利と義務をしりましよう！